

1. 学校名 対象 (学年、人数) 飯田市立和田小学校 5学年 6名

2. 探求課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1)活動名 「日本の米作りを守っていこう」

(2)目 標 ①米作りの体験を通して、米の作り方や米作りに携わる人の工夫や苦勞を知る。

②日本の米作りの現状を知り、自分たちにできることを考え、実行する。

(3)ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

多様性 (多種多様な現象が起きていること)

公平性 (一人ひとりを大切に)

相互性 (関わりあっている)

連携性 (互いに連携・協力すること)

有限性 (限りがある)

責任制 (責任を持って)

その他 ( )

②育成する資質・能力

批判的に考える力

他者と協力する力

未来像を予測して計画を立てる力

つながりを尊重する態度

多面的・総合的に考える力

進んで参加する態度

コミュニケーションを行う力

(4)関連する SDGs

2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに

1 2 つくる責任・つかう責任 1 5 陸の豊かさを守ろう 1 7 パートナリシップで目標を達成しよう

(5)探求課題・活動実践の概要

①一連の米作りの体験 (畔作り→代掻き→田植え→稲刈り→脱穀→もみすり→精米)

②社会科「米作りの盛んな地域」の学習

庄内平野の課題→他地域の課題→JA インタビュー→学習テーマ「日本の米作りを守っていこう」

③自分たちができる活動5つの実行 (まずは、ごはんをたくさん食べるところから)

④交流と発信 (「米作り」でお世話になった方々に感謝の会、地域に向けた学習発表会)

3. 流れ (指導計画の概略)

5月…畔づくり → 代掻き → 田植え

6月…田の草 (ヒエ) 取り → 分蘖や出穂の様子を観察

9月…稲刈り はぜかけ → 米の水分量検査 → 脱穀

10月…もみすり → 精米 米粉

11月…街道縁日で販売活動

社会科「米作りの盛んな地域」との関連学習

山形県庄内平野の課題→学習テーマ

12月…お世話になった皆さんに感謝の会&収穫祭

おにぎりやお餅作り 地域に向けた学習発表会

1月…米粉の良さや問題点



4. 効果・反応・所感

当初は、単に「米作り」を体験できることに喜びを感じていた子どもたちが、体験を通して、その工夫や努力に気づいていくことができた。たくさんの収穫ができた頃に社会科の学習で「米作り」の課題を知った子どもたちは、他人事ですますことができず、「日本の米作りを守っていこう」という学習テーマを立てた。そして、自分たちができること5つを決め、実践し始めている。また、米粉にも注目した子どもたちは、米粉の普及にも力を入れようとしている。

5. 指導方法・体制の工夫 (協力者や資源)

① 水管理の大平政広さん ②田の持ち主の後藤通和さん ③オペレーターの針間道夫さん

④ 地元 JA の原さん 桑原さん ⑤農業普及員の堀さん ⑥地元の米屋の近藤さん